

【経済学研究科前期博士課程入試科目の変更について】

大学院経済学研究科前期博士課程現代経済専攻では、平成27年度の一般選抜・留学生選抜及び社会人A選抜から、学力試験科目を下記のように変更します。

【一般選抜・一般コース】

筆答試験		筆答試験	口述試験
英語Ⅰ (45分)	英語Ⅱ (45分)	経済理論1 (マルクス経済学1) 経済理論2 (マルクス経済学2) 経済理論3 (近代経済学1) 経済理論4 (近代経済学2) 計量経済学 経済史 経済政策 国際経済	筆答試験の解答・研究計画書について行います。 (1人当たり約15分)
英語Ⅰおよび英語Ⅱについては、辞書1冊の持ち込み可。ただし、経済用語辞典、電子辞書等は不可。		上記の8問の中から1問を試験場で選択。 (90分)	

【一般選抜・修士専修コース】

筆答試験	筆答試験	口述試験
英語Ⅱ (45分)	経済理論1 (マルクス経済学1) 経済理論2 (マルクス経済学2) 経済理論3 (近代経済学1) 経済理論4 (近代経済学2) 計量経済学 経済史 経済政策 国際経済	筆答試験の解答・研究計画書について行います。 (1人当たり約15分)
辞書1冊の持ち込み可。ただし、経済用語辞典、電子辞書等は不可。	上記の8問の中から1問を試験場で選択。 (90分)	

【留学生選抜・一般コース】

筆答試験	筆答試験	口述試験
英語Ⅱ (45分) 解答を英語で記すことができる。	経済理論1 (マルクス経済学1) 経済理論2 (マルクス経済学2) 経済理論3 (近代経済学1) 経済理論4 (近代経済学2) 計量経済学 経済史 経済政策 国際経済	筆答試験の解答・研究計画書について行います。 (1人当たり約15分)
辞書2冊(母語と英語1冊および日本語と英語1冊)の持ち込み可。ただし、経済用語辞典、電子辞書等は不可。	上記の8問の中から1問を試験場で選択。 (90分) いずれの問に対しても、英語で解答することができる。	

【留学生選抜・修士専修コース】 【社会人A選抜】

筆答試験	口述試験
経済理論1 (マルクス経済学1) 経済理論2 (マルクス経済学2) 経済理論3 (近代経済学1) 経済理論4 (近代経済学2) 計量経済学 経済史 経済政策 国際経済	筆答試験の解答・研究計画書について行います。 (1人当たり約15分)
上記の8問の中から1問を試験場で選択。(90分) いずれの問に対しても、英語で解答することができる。	